

未来を強くする

令和6年度の一般会計、3特別会計、企業会計の決算は、令和7年10月8日～9日の2日間にわたり、議長と議会選出監査委員を除く6名で構成された決算審査特別委員会（池澤委員長・酒向副委員長）で審議されました。採決の結果、各会計とも賛成多数で認定すべきものと決定しました。



令和6年度決算の詳しい内容は、
12月5日配布の広報わつさを
ご覧ください

小・中学校エアコン設置
5,082万円



東山スキー場リフト改修
5,320万円



ふくしのまちづくり関連
7,737万円





議会の評価はコレだ！！

振り返りが

一般会計決算額 (1万円未満四捨五入)

歳入 48億3,013万円 (前年度対比 103%)

歳出 46億9,823万円 (前年度対比 103%)

町の貯金 (基金)
46億7,119万円

町の借金 (地方債)
40億5,156万円

決算の平均 **78** 点

中原
浩一
議員



行財政 に注目！

まちづくりが弱いと感じる。
基金は他町村から見て本町
規模では多く、将来につな
がる使い方を望む！

決算の平均 **59** 点

石田
利美
議員



行財政 に注目！

特別養護老人ホームの建替
えが進んでいるが、今後の
財政が心配だ。

決算の平均 **81** 点

酒向
勤
議員



社会福祉 に注目！

子ども・子育て・児童に関
する事業に向上が見られる。
ますますの拡充を。

決算の平均 **80** 点

窪田
裕一
議員



行財政 に注目！

ふるさと納税は6,000万円
以上を目標とすべき！町内
経済のためにも寄付額を増
やす対策を。

決算の平均 **78** 点

小野田
久美子
議員



行財政 に注目！

人口規模に見合った事務事
業の再構築など、財政の抜
本的な見直しで持続可能な
町へ。

決算の平均 **85** 点

村岡
敏一
議員



産業振興 に注目！

加工センター利用減による
整備意欲が衰退。トマトジ
ュース生産利用動向がカギ
か。

決算の平均 **77** 点

池澤
哲也
議員



産業振興 に注目！

災害による農地や農業用施
設の復旧は行ったが、将来
を見据えた農地基盤整備へ
の支援も検討すべき。

決算の平均 **83** 点

遠山
優太
議員



基盤整備 に注目！

誰もが安心できる除排雪事
業の更なる制度設計に期待。

税金も寄付も町民の安心へ

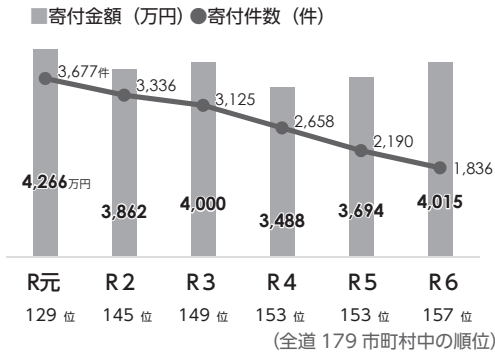
二 寄付額の大幅アップを!! 二

ふるさと納税

Q ふるさと納税は議会で先進地視察を行い、研究を重ねた。民間活用や専門部署設置など町へ提案してきたが、目標寄付金額を5000万円から4000万円に下方修正した。寄付金額は減少し、成果を上げられず物足りない結果となっているが、今後どのようなしていくのか。

**寄付金額低迷
全道で157位**

A 物価や人件費高騰により、昨年度は一部返礼品の値上げがあり、寄付件数が減少したものの寄付金額が上昇した。寄付金額を上げる努力や関係機関との連携を強めていく必要があると考えており、町内民間事業者の知恵も借りながら他自治体も参考に検討したい。



▲直近6年間の寄付金額と寄付件数の推移



返礼品(品目)ベスト5

1位	ジンギスカン
2位	米
3位	メロン
4位	秋野菜セット
5位	トマトジュース

▲昨年度は氷点の舞が急上昇

ふくしのまちづくり



▲職員研修を重ね町全体の福祉向上を目指す

Q 芳生苑・健康苑の職員が「ゆうゆう」の施設で研修しているが、現在の状況と今後の計画は。

A 「ゆうゆう」グループの施設への研修は、令和6年度1名、今年度は更に2名加わ

り計3名が障がい者(児)施設で研修中。
町内の既存施設等を活用しながら障害サービスの提供ができないか検討しており、新たな福祉施設完成予定までの残り約2年間で体制を整えていく考え。

芳生苑・健康苑

Q 今年度から芳生苑・健康苑の指定管理者を「ゆうゆう」に変更したが、状況は。

A 芳生苑入所者数は、令和7年3月末で47名だったが、10月1日時点では49名となっている。健康苑は一日平均14名で昨年度と同程度の利用状況。「ゆうゆう」になってから面会制限を解除し、職員の意識も「地域に開かれた施設へ」と高まってきている。

入所者の介助は一律ではなく、個人に合わせたケアプランの対応を進めている。

子育て支援の充実

こども誰でも通園制度

Q 来年度から国の「こども誰でも通園制度」が始まるが、保育所での受入れに問題はないか。

A 町の保育所は生後8か月からの受入れだが、この制度は「生後6か月からの利用」と法で定められているので、受入れ体制を整えていく。

保育所物品の一部負担

Q 今まで無料とされていたクレヨンなどが令和6年度から有料になったと保護者から聞いたが、町で負担できないか。

A 令和6年度から個人で使用する2歳児のカバー帽子と4歳児のクレヨンを負担いただいている。

保護者会等で「保育料が完全無償化だから物品の負担は当然」という意見が大半だった。保護者の方々に丁寧に説明したい。

きらっと・こども食堂



▲町内のボランティアが運営する「こども食堂」

Q 地域おこし協力隊が行っている子どもたちの第3の居場所「きらっと」や、ボランティアが行う「こども食堂」の利用者が増えることによって、新たな展開も期待できると思うが、連携の考えは。

A 地域おこし協力隊の藤井さんが「きらっと」を始める際、教育委員会としてできる部分は協力・連携していくと話しており、「こども食堂」に関しても同様に考えている。

安全安心に暮らせる体制

大通り商店街除排雪

Q 大通りの空き家や更地が増えているが、除排雪経費の個人負担は増えていないか。また、除雪費用が値上がりした場合、住んでいる方の費用負担は。

A 大通りの空き家等は町が費用を負担している。物価高騰により業者単価が上がっても、住んでいる方の負担が大きく変わらないよう実施している。

ヒグマ

Q 令和6年度のヒグマ出没件数と、出没情報をどのように町民へ周知しているのか。

A 出没通報11件のうち目撃6件、足跡等の痕跡5件。ひぐまつぶや防災無線（LINE含む）、看板設置のほ



▲ひぐまつぶ 2025



▲公式LINE アカウント

か、直接近隣住民にお知らせしている。

リサイクルゴミ処理

Q 全国的にモバイルバッテリーの自然発火や爆発による火災が増えている。処理方法が分からず放置していることも考えられるが、本町における取扱い。

A 本町では危険ごみに分類され、町民センターとリサイクルセンターで拠点回収し、専門業者による処理を行っている。



▲町民センター1階の階段横にある拠点回収

※こども誰でも通園制度…保護者の就労状況に関わらず、0歳6か月から満3歳未満の未就園児が保育施設を時間単位で利用できる制度

補助金の有効活用で課題解決

自治会館エアコン設置補助



▲エアコンが設置された東山自治会館

中小企業保証料・利子補助

Q 最近、金融機関も保証協会を付けた融資がほとんどで、中小企業補証融資保証料・利子補給補助は増加が予想される。情勢に合った形で事業を考えては。

A 商工業活性化融資利子補給補助は新規0件、中小企業補証融資保証料利子補給補助は新規11件と差がある。事業者はどれが安定有利に使えるか商工会と北星信用金庫と相談して決めるので、連携を深めて考えたい。

Q 今年度、自治会活動推進交付金でエアコン設置に上限10万円を補助しているが、熱中症対策として積極的に自治会へ設置をお願いしていくのか。

A エアコンを設置したのは3自治会。未設置の自治会にはできる限り設置していただくよう、丁寧に説明したい。町施設を自治会館にしている自治会もあるため、空調設備の整備に向けしっかり検討する。

		中小企業補証融資保証料及び利子補給補助	商工業活性化融資利子補給補助
運転資金	補助金額	1,000万円	300万円
	償還期間	10年以内	4年以内
設備資金	補助金額	3,000万円	500万円
	償還期間	20年以内	5年以内
信用保証		必須	任意
利子		1.4%以内	2.4%以内

消費者生活センター

Q 1市3町（土別市・剣淵町・幌加内町・和寒町）で構成している消費者生活センターへの相談31件と、消費者教育2件の具体的な内容は。

A インターネット広告から誤って購入して届いた商品の受取拒否や、月契約の止め方等の相談がある。消費者教育は、消費者生活センター職員が小・中学校でスマートフォンでの課金の取扱いなどの講習会を行っている。

後期高齢者健診

Q 受診率49%は全道的に見るとどうか。町独自の取り組みは。

A 令和6年度の受診率では全道4位となっている。後期高齢者健診のほか、40歳〜74歳対象の特定健診や若年者の健診を集団健診の際に同時に受けられるよう設定している。年度当初に案内を送付し、電話や来庁時に声掛けをしている。

令和6年度決算^{*} 討論

一般会計

反対 石田議員

ふくしのまちづくりで大きなお金が動くことや、民設民営での特養建替えについて町民は本心に理解しているのか。

賛成 窪田議員

一つ一つ細かく見れば様々な課題があるものの、建設的な決算委員会だった。ふくしのまちづくりが町民の理解を得られるよう、議員にも説明する責任がある。

介護保険特別会計

反対 石田議員

ふくしのまちづくりに関する建設費は、物価高騰によって今後も値上がりが見込まれ、町の財政が危惧される。

賛成 討論なし

※討論…他の議員を自分の意見に賛同させることを目的とする発言